

## 会 議 録

会 議 名	平成28年度第2回野田市社会教育委員会議
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	<p>議題          少子高齢社会の社会教育について（公開）</p> <p>報告事項          1 平成29年野田市成人式開催状況について（公開）          2 川間公民館の開館について（公開）</p> <p>その他          会議録等のホームページ掲載について（公開）</p>
日 時	平成29年2月23日（木） 午前10時から11時30分まで
場 所	野田市川間公民館 講堂
出席者氏名	<p>委 員 富田 広、木名瀬 訓光、古矢 千晴、文道 尚子、          森田 邦子、高井 千鶴、江原 正子、河内 賀子、          佐藤 秀夫、鈴木 昭夫</p> <p>事務局 伊藤 公夫（生涯学習部次長兼社会教育課長）          大倉 純（社会教育課長補佐兼生涯学習振興係長）          志賀 純子（社会教育課生涯学習振興係主任主事）</p>
欠席委員氏名	戸張 泰、茂呂 嘉男
傍 聴 者	無
議 事	平成28年度第2回野田市社会教育委員会議の会議結果（概要）は、次のとおりである。
議長	<p>1 開会          事務局から、会議の公開、欠席委員の報告及び会議成立の報告、傍聴者について説明を受ける。</p> <p>2 委員長挨拶          鈴木委員長が挨拶を行う。</p> <p>3 議事          それでは、先に、「その他」からお話をいただければと思います。</p>

<p>総務課長補佐</p>	<p>資料をお配りしておりますが、会議録等のホームページへの掲載について、「会議録」、「会議資料」、「委員名簿」をホームページに掲載してよろしいかということをお審議いただきたく、それにつきまして御説明しますので、よろしくお願ひします。</p> <p>野田市におきましては、これまでホームページに会議日程、会議の概要というものは載せております。ただし、会議録、会議資料については載せておりませんでした。</p> <p>今後、情報発信という観点から、近隣を調査したところ、掲載している市も多くございましたので、本市においても進めていこうとなりましたが、それについての決定は、それぞれの審議会でお願ひしたいと、その過程を経てから、随時進めていきたいと思いますという事で、昨年8月からいろいろな審議会でお話をさせていただいているところでございます。</p> <p>「会議録」、「会議資料」のほかに、「委員名簿」というものもございまして、今までも、「会議録」、「会議資料」については、市役所の行政資料コーナーで、紙ベースの形で、すでに配架してございます。それ以外に、その審議会の特徴が分かるように、「委員名簿」についても公開できたらいいのではないかと、あわせて「会議録」、「会議資料」、「委員名簿」をホームページに掲載してもよろしいかということの御判断をお願ひしたいという事でございます。</p> <p>最初に、「会議録」について御説明します。「会議録」については、現状のままですと、それぞれの議題について「報告を受ける。」、「了承する。」という簡潔な形の結果の概要を記していたところでございます。それを一語一句ではないけれども、会議の概要がわかるものを行政資料コーナーに配架するとともに、ホームページにもお出しできないか、ということについて、まず御審議いただきたいと思ひます。</p>
<p>議長</p>	<p>この会議の「会議録」のホームページへの掲載の可否について、これについていかがかということですが、これについて、皆さんの方で、御質問、御意見があればお願ひします。</p>
<p>議長</p>	<p>では、総務課さんの方で、何故それが必要になったかについて、もう少し御説明いただけますか。</p>
<p>総務課長補佐</p>	<p>昨年6月議会に、「会議録」や「会議資料」につきまして</p>

は、すでに行政資料コーナーに紙ベースで配架しておりましたが、それをホームページにも掲載してほしいという陳情がございました。陳情がございまして、事務局としての考えをまとめたところ、他市の事例等も踏まえてみると、実際、ホームページに掲載しているところが多く、市としても問題ないと思いますが、他市も同様なのですが、やはり審議会それぞれの決定を経たうえで公開するのが望ましいというように、その陳情に対してはお答えをしまして、結果的に不採択になっております。ただし、ホームページでの情報発信ということをお答えしておりますので、昨年8月から順次審議会を回らせていただいています。

30を超える審議会がありますが、ほとんどの審議会では「会議録」、「会議資料」、「委員名簿」のホームページへの掲載を御了承いただいています。ただ、「会議録」については、ごみの減量を審議するような会議においては、自由な発言が制限されるおそれがあるという意見がございまして、そういうようなところでは、「A委員」「B委員」として「会議録」を出すという取扱いになっているところもあります。

「委員名簿」については、今日配布しているものは事務局の方で作成したものです。その中の氏名と選出区分、選出区分については条例で定められているところがございます。それについては、お出ししてよろしいのではないかと考えておりますが、その後の選出団体については、それぞれの皆さんのプロフィールがより良く分かるころではございますが、これについてはそれぞれの審議会でご判断いただければいいと思っております。

まず、先に「委員名簿」を出してよろしいかということをお決定いただいた後に、名簿のどの部分まで、選出団体等も含めてお出しするかしないかということをお決定いただきたい。

ほかの審議会はどうかという、市の方で何らかの制限を加えるような施策を諮問するような審議会については、選出団体等については、そこまでは詳しく載せていないことが多く、教育委員会の会議等については、比較的選出団体等を入れているところが多いのですが、いずれにしても、それぞれの審議会でお決定いただきたい。

議長

市の方としては、基本的には公開ということでもいいですね。ただ、それぞれの審議会でご審議して、取り決めていただいてもいい

	<p>たいということで、今までの審議会では、若干意見は出されたけれども、ほとんど了解されてきているということで解釈してよろしいですね。</p>
総務課長補佐	<p>はい。そうでございます。</p>
議長	<p>それでは、ホームページへの掲載についての可否についてですが、了承ということでよろしいですか。</p>
委員	<p>(全員了承)</p>
議長	<p>掲載については、了解ということで決定したいと思います。</p>
総務課長補佐	<p>それでは、会議録の作成や掲載時期の手順についてお話ししたいと思います。</p> <p>会議録については、この会議終了後、事務局の方で1か月以内を目途に作成をして、原則委員長さんに確認を取った上で公開したいと考えております。</p>
議長	<p>今のことについて、皆さん、特別に意見ありますか。個人的には、私が一人で見ることができるとかという心配はありますが、それをまた皆さんを一軒一軒まわることによる事務上の時間というものもあります。</p> <p>今の件については、提案のとおりでよろしいですか。</p>
委員	<p>(全員賛成)</p>
議長	<p>それでは、「会議資料」について説明をお願いします。</p>
総務課長補佐	<p>「会議資料」につきましては、何を載せるかということについては、今日、皆さんにお配りしている資料を掲載するというので、これについては、事務局の方で、掲載する作業で時間が掛かるということはないので、このことについては、御了承いただければと考えております。</p>
議長	<p>では、これに関しても、事務局の方で従来どおりの事務量とのことで、掲載については了承でよろしいですか。</p>

委員	(全員了承)
総務課長補佐	<p>それでは、最後に「委員名簿」についてお話をさせていただきます。</p> <p>「委員名簿」については、これまで「会議録」という形で、行政資料コーナーに置いておりましたので、委員さんが誰だということは分かったのですが、それを「名簿」という形でホームページに掲載できれば分かりやすいのではないかとということで、御審議をいただくものでございます。</p> <p>市としましては、「氏名」と「任期」、「選出区分」というのがそれぞれ規定された中で委嘱されている皆さんということでございますので、もし公開していただけるとしましたら、お配りした名簿の最初の3つの部分までは、あわせて御説明させていただきますと思います。</p> <p>選出団体等については任意で、もし公開していただければ、ということで事務局が考えた案です。こちらについては、どちらが多いということはありませんが、教育委員会は、公民館運営審議会、図書館協議会というように文化的な審議をする会が多くございますので、そういう所は、こういう会を代表して出てきているからというように、選出団体等は言った方がいいのではないかと意見が出されることが多いですが、それぞれの審議会の御判断なので、市としてどう判断してほしいということはありません。</p> <p>まず、「委員名簿」をホームページにお出ししてよろしいかという御決定をいただいた後、「選出団体等」の欄の取扱いをどうするか御意見を伺った上で御決定していただければと思います。</p>
A委員	この名簿の掲載順というのは、どうやって決めたのですか。
社会教育課長	<p>まず、選出区分がでございます。社会教育法に規定されておりました、それを受けて市の条例で定めております。学校教育の関係者、1号委員と言いますが、次に、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者、野田市の場合は、ほかに公募委員の枠がでございます。この任期については、公募者がなかったことから現在は欠員となっておりますが、その中で作成しておりますので、正副委員長の順で作成はしてございません。</p>

<p>総務課長補佐</p>	<p>選出区分の中で、その順番はどうですかということでは、原則50音順、あいうえお順に並び替えさせていただければと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>まずは、「委員名簿」を公開してよろしいかということに関しては、皆さん、了承いただいでよろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>(全員了承)</p>
<p>議長</p>	<p>順番については、先程出た意見以外に何かありますか。それでは、事務局の方で示された内容で、よろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>(全員了承)</p>
<p>議長</p>	<p>あと、会議の個人的な発言について、誰がこういう発言をしたということを「会議録」に載せていいかという問題ですね。</p>
<p>総務課長補佐</p>	<p>この会議は公開している会議でございます。4年くらい前になりますが、行政資料コーナーに配架している資料につきましては、誰々がこういう発言をしているというような形で会議録を作成しており、発言委員さんの名前が出ております。今後、これと同じものを、原則ホームページ上にお出しするというお話をしたのですが、これに対して、委員長から懸念があったのは、発言者の名前を出した上で会議録を出されると、誤解を招く恐れもあるのかな、という意見を頂きました。先程も申し上げましたように、ごみ減量につきましては、A委員、B委員というような形で会議録を作成すると審議会で決定されております。この会議では、会議録をこのような取扱いにしたいということであれば、それを尊重したいと思います。傍聴人がいれば、また質問があれば聞けますし、記録としてテープを録っておりますが、このテープを聞きたいという情報開示の請求を受ければ、市役所はそれを全て開示するという形になりますので、もし、聞きたい人がいれば、それは聞ける状態にあるので、秘密ということにはなりません。ホームページに載せるものについては、A委員、B委員とするというような形でやりたいということであれば、その決定で公開していただければいいと思います。</p>

議長	ホームページ上の発言者の名前を載せた方がいいかどうか、これについて、御意見あるかと思しますので自由に発言をお願いします。
B委員	発言をする場合に、どういう発言ができるのか不安を覚えました。事前に会議資料を頂けると前もって見ることができ、その上で発言をすることができるので、事前に資料を頂ければと思います。
社会教育課長	B委員から頂いた御指摘について、本来であれば会議等の資料については、事前に委員の皆様のお手元に届けるものなのですが、これについては、今後直していくよう考えております。
C委員	個人的な意見ですが、社会教育というのは、幅が広いと思うので、自由に意見を申し上げようとしたときに、ホームページに名前が載っていくと、一つ悪くすれば、非難や中傷の対象となるような傾向が問題化していることもあるので、できれば固有名詞は載せないで、A、B、Cとかそういう形でホームページには掲載してほしいと思います。市役所に誰の発言か聞かれるのは構わないと思います。
議長	懸念する意見が出ました。個人攻撃的な問題もよく耳にするのですが、社会教育は非常に幅広い問題を扱います。会議に出ず、言葉だけが出た場合に、言葉の一人歩きにより思わぬ中傷を受けるというは起こり得ることだと思います。名前はA、Bというようにした方が、皆さんが自由に率直な意見を述べられるということにつながるのではないかと思います。
委員	(全員賛成)
議長	それでは、ホームページ上について、直接の名前の掲載は伏せるということで決定したいと思います。
総務課長補佐	「会議録」については、ホームページについても、行政資料コーナーについても、A委員、B委員のように記載するものとします。 「委員名簿」の選出団体等の掲載についても、このまま載せてよろしいですか。

D委員	載せてよろしいと思います。公開した場合に、社会教育の関係者だけではつかみどころがなくなると思うので、ある程度、こういう団体からの選出なのだということが分かる方がいいと思います。
委員	(全員賛成)
総務課長補佐	お諮りいただきたいことは以上です。
議長	それでは、続いて、報告事項についてお願いします。
社会教育課長	<p>順番が後先になりますが、報告事項の1点目ですが、平成29年野田市成人式について御報告申し上げます。</p> <p>野田市文化会館を会場に1月9日に成人式を開催いたしました。本年の該当者数は1,624名で、参加者数は男性608名、女性523名の1,131名で、出席率は69.6%となりとなっております。前年と比較しますと出席者は27名の増、出席率は0.9ポイントの減となっております。</p> <p>今回の実行委員の企画は、恩師からのビデオレターで、会場内から歓声が上がっていました。式典中、一部騒がしい新成人がおりましたが、大きな混乱もなく無事式典を終了させることができました。</p> <p>当日は、教育委員会職員を始め、交通指導員、青少年補導員、手話通訳、写真撮影、着物着付けなどボランティア団体の方々の御協力を頂きまして実施をいたしました。</p> <p>次に、川間公民館の開館についてですが、今年の1月21日に落成記念式典を開催しました。2月一杯までは、今まで古い公民館を利用されていた団体が、新しい公民館を使用するのに、どの部屋が一番適しているのか、使い勝手などを見ていただくための試用期間としています。また、新しい公民館を周知するため、公民館まつりや、子供達を対象とした星空観察会などを行っております。</p> <p>※川間公民館長より、館内設備の説明を受けながら、施設内を見学する。</p>
議長	それでは、テーマ「少子高齢社会の社会教育について」の協議に入りたいと思います。今年2回目の、このテーマに関する



会議になります。このテーマに沿った、これまで実践なさっている活動について、それぞれの分野からの立場で、自由な発言をお願いします。まず事務局から何かありますか。

社会教育課長

「少子高齢社会の社会教育について」は、過去3回御協議いただいております。任期が本年の6月30日までとなっており、本来ですと、それまでに協議内容をまとめるのが適当な時期であると思っていたのですが、ここで、平成29年度の市の施策を考えていく中で、総合計画が出来上がり、その中にもある「生物多様性」の問題、「郷土愛を育む」という二つの大きな施策に沿ったご意見についても、これまでのご意見の中に入れていただきたいと考えております。ついては、この二つの施策の視点も入れていただいた上で、平成29年度の11月くらいまでには一度まとめる、中間まとめになるかは分かりませんが、一つ区切りとしてまとめていただきたい。生物多様性の各団体の取組や郷土愛を育むためにどのような取組をしたらよいのかというような御意見をお聞かせいただいて、そのうえでまとめを作りたいと考えております。

議長

来年度まで現在のテーマで進めてほしいという話がありました。現在、皆さんの日頃の活動について、まだまだ出し尽くしていないということも思いますし、場合によっては、今後課題をもって取り組んでいただいて、発表していただく、意見を頂くというようなことも必要となってくるでしょう。そこへ生物多様性の社会づくり、郷土愛を育むということが新たに提示されたわけですが、市長も昨年変わって、従来と変わりは無いと思うのですが、教育に力を入れるのだということに加えて、郷土愛的なものをいろいろな所でおっしゃっているということも伺っています。これは市全体の取組であると思っておりますので、そういう視点を入れて、我々も今後活動していくことが求められているということですね。

郷土愛という視点からだとお話ししやすいかと思えます。野田市には、こういう素晴らしいものがあるよ、恵まれているのだよということ、みんなで理解し合っていくということが、郷土愛づくりには必要になってくると思っておりますので、皆さん活動していて、こういう素晴らしいものがあるよということを出していただいて、今後どう生かしていくかということが大事になってくると思えます。

B 委員	<p>郷土愛という視点で言えば、ちょうど江川地区を保存しようという動きが見えた、今も動いていますが、自然環境と人間が暮らして作り上げた野田市の文化的なもの等を、若い世代や新住民という人達に伝えられる、逆に言えば教えてもらえる場があるといいのかなと思っています。</p> <p>例えば、江川地区で活動している団体や人がいて、地域の小学生たちが稲作を体験するというような活動があると想像するのですが、そういう継承する場があるといいと思います。</p>
E 委員	<p>同じ福田地区ですが、現在は少なくなりましたが、元々農業をしている人が多かった地区なので、おじいちゃん、おばあちゃんたちが学校へ行って指導したりしているので、比較的交流の多い地域だと思います。地区社協が一つしかなく、歩け歩け大会等400人くらい集まって、地域との一体感がある所だと思います。</p>
F 委員	<p>二ツ塚小学校ですが、福田第一小、第二小から分離した小学校なので歴史的には開校30年ちょっとというところです。福田第一小、第二小という元々の地元の方から、新しく越してきた方もいて、ちょうどいい状態にあるのですが、福田地区というところは、非常に郷土愛があるなと思っています。</p> <p>自然環境ということでは、福田第一小の近くに三ツ堀里山自然園がありまして、よく学校単位で行っていて、やはり地域の方々がいろいろ昔の様子を教えてくれる。歩け歩けのほか、福田の森コンサート等、地域でいろいろあると小学校も呼んでいただいたりして、皆で子供たちを見ていこうという雰囲気がありますね。</p>
G 委員	<p>野田市はいろいろな場所に自然も残っているし、遺跡もあつたりもするので、マスメディアの力を利用するなどして、情報を発信していくと、本当は市民の方が先に知っているべきことかもしれないが、「こんな所があつたんだ」というように、逆に改めて地元を知る機会となるので、郷土愛が生まれてくることにつながるのではないかと思います。</p>
F 委員	<p>先程、福田地区の学校の話をしたが、関宿地区では鈴木貫太郎、中央地区では醤油醸造を中心とする歴史、川間地区では染谷亮作など、それを重んじる地域の方々が出て、その地域の方</p>

が学校に協力してくれます。それぞれの地域に歴史があって、綿々と受け継がれているものがあると思います。郷土愛というのは、そういう所から育まれてくるのかなと思います。

議長 子供たちに地域の誇りを挙げてみてと言うと、結構挙がってきます。けれどもそれが地味な形で推移していて、ダイナミックに発信されていきません。工夫、仕掛けが不足しているものがあるのではないかと思います。

子供に野田の自慢を挙げてと言うと、かなりの数が挙がってきます。意外に大人の方が知らないのではないのでしょうか。

野田は魅力あるまちで、まだまだやり方があるまちではないかと思っています。仕掛けをしていくことが肝要と考えます。

H委員 それぞれの地域で、それぞれの文化を築いてきたわけですから、それぞれいいものが残っていることは確かだと思います。

私は興風会館という有形文化財に指定されている建物を守っていくという仕事の側面がありますので、そういうところからの話になりますが、長寿大学という事業を行っていますが、意外と大人が野田市を知りません。野田市の歴史や成り立ちを知りません。今まで、市外のお寺とか観光地に行つて勉強するというのを年2回行つていきましたが、地元を知るといふことも大事なのではないかということで、関宿方面からまわってみると「初めて来た」とか「こういう所があつたんだ」といふ声が多く聞かれます。なかなか野田の歴史に触れるチャンスがなかつたのではないかということで、できるだけ野田市を知ってもらふ取組へと少し方法を変えながら行つていふところではあります。

もう一つは、一度興風会館に来たことがある人は何かの折に行つてみようかなと思つてもらえますが、一度も来たことのない人は、「どこにあるの」と「何をやつていふの」といふ感覚なので、若い人達を取り込む企画とかイベントに取り組んでいこうと、今年には社会教育課にお願いして、子ども県展の会場に興風会館も立候補しました。そうすることで小さなお子さんと若い親御さんが一緒に見に来てもらえるので、そういう機会を利用して、若い人に来てもらえるよう、少し発想を変えながら取組を始めています。

ガイドの会が地域にあり、いろいろな活動をしていふので、野田市以外の方が、野田市を知るといふことでまち歩きをすることが多くなつていふます。それによつて野田の人の郷土愛に直

	<p>接つながっていくことは難しいかもしれませんが、郷土愛となったときには、野田のまちを知る、地元を知るところから始めることが重要であると思っています。</p>
<p>議長</p>	<p>郷土愛となると、往々にして、学校で何を教えるかということになりがちですが、もっと大人がやるべきことがあるように思います。「野田はこんな素晴らしい所がありますよ」ということについて、自己満足に留めておかず、知見をどのように発信していけるかが求められるでしょう。</p>
<p>C委員</p>	<p>旧市内に住んでいるが、空き家が多く、人がいなくなっています。例えば興風会館、市民会館等、こういう場所があるということは知っているけれども、それをどう生かしていくべきなのか、活用しきれていないという課題があります。</p> <p>せっかく社会教育委員になったのだから、この少子高齢社会の中で、もう少し発展的なことを、個人的ではなく、もっと皆で何かできることはないかと考えています。</p>
<p>議長</p>	<p>少子高齢化というのは、野田も例外ではありません。高齢者が独りになっている、周りに全く関心がなくなってしまう方がいます。セルフネグレクトという言葉が出てきていて、日本中にそういう傾向があるといえます。逆に、元気な人も非常に多くいます。知患者であり、まだ活動できる人で、こういう皆さんが独自の趣味の活動に終わらず、そこからプラスアルファで社会づくりに参画できるシステムづくりがなされていくことが求められます。</p> <p>少子化ということでは、先程成人式の報告がありましたが、この世代は横ばいのようなのですが、いよいよ就職する段階になってくると野田から外に行ってしまう、若い世代が離れて行ってしまうという現状は否めません。しかし、近隣のところでは若い世代が増えてきています。金銭的なものだけではない、何か違うものも野田のまちには必要なのではないかとすることも考えるべき課題になると思います。</p> <p>今、体育関係の活動をしていますが、野田市は体育施設が非常に多く、他市に比べ恵まれていると考えます。ただし、やや利用者に片寄りが感じられます。</p>
<p>I委員</p>	<p>他市の人が先に借りてしまっていて、地元の人が使用できな</p>

いという現状もあります。

議長 各々のグループが大切に使っていると見受けられますが、なかなか、多くの方々に活用していただくというような姿にまで高めるには課題がありそうです。

高齢者ということでは、非常に元気で活動している人もいれば、引いてしまっている方もいます。そういう人達をどう融合させていくかということを考えると、やるべきことは多くあります。そうした中で、これだけのことをやれたと言える、進められる行政であってほしいと願いながら、あと一年、このテーマで審議してまとめられるよう、皆さんアイデアを絞って活動を続けていただければと思います。

議長 ほかに御意見がなければ、平成28年度第2回社会教育委員会議を閉会とします。